

以文社

好評既刊書のご案内！

おかげさまで重版しました！

観察者の系譜 視覚空間の変容とモダニティ
ジョナサン・クレーリー 著 遠藤知巳 訳
四六判 上製カバー装 309頁 本体価格:3,200円

長らく絶版になっていた歴史的名著が、また蘇る！

視覚の近代の成立に決定的な役割を果たした〈観察者の誕生〉。本書はこの誕生の諸相をさまざまな視覚器具、絵画、人間諸科学の大胆かつ繊細な分析をとおして明らかにします。この観察者の問題は、身体が社会的、リピード的、テクノロジー的な装置の一要素にどのように組み込まれようとしているかという、視覚文化の根本に迫る記念碑的名著です。



☆☆ 好評既刊書！ ☆☆

近代の〈物神事実〉崇拝について —ならびに「聖像衝突」

ブリュノ・ラトゥール 著 荒金直人 訳
四六判 上製カバー装 248頁 本体価格:2,600円
— 『負債論』は21世紀の『資本論』か？ —

「事実」とは何か？「物神」とは何か？そして、なぜ聖像／偶像是破壊されるのか？こうした認識の根本的なテーマをめぐって、本書の著者ブリュノ(ブルーノ)・ラトゥールは、「事実」と「物神」を区別する西洋近代の存在論をフェティシズムにまつわる概念を用いて、批判的に検討する。

そして、白人宣教師と黒人物神崇拝者の植民地状況下における歴史的な出会いや9.11の貿易センタービルの崩壊といった現代的な出来事を通じて、いかに近代人が「物神」とその「破壊」に囚われていたかを明らかにして、「憎悪と狂信の考古学」を描出する。

ラトゥールの著作はすでに日本では紹介されているが、本書は難解とされるラトゥールの方法論が簡潔に展開されており、科学論や文化人類学という多面的な読者へのまとまった案内書でもある。



事実は何か？物神とは何か？

キャリバンと魔女 資本主義に抗する女性の身体 (特別冊子付き)

シルヴィア・フェデリーチ 著 小田原琳・後藤あゆみ 訳
四六判 上製カバー装 528頁 本体価格:4,600円

「ジェンダーとは階級である」
資本主義の起源は魔女狩りだった！？

16、17世紀の欧米を席卷した魔女狩りによって迫害・処刑された女性たちとその身体こそ、〈資本主義〉が恐れ、強制的に統治しなければならなかった存在であり、シェイクスピアの戯曲『嵐(テンペスト)』に登場するキャリバンこそ、資本主義が生んだ植民地支配への象徴的な抵抗者だった……。

「家事労働に賃金を！」のスローガンを掲げ、フェミニズム運動の中心的活動家のひとりであるシルヴィア・フェデリーチは膨大な歴史資料・民族誌の読解を通じて、マルクスの本源的蓄積、フーコーの身体論を批判的に検討。彼らが描ききれなかった魔女狩りから植民地支配、今日のグローバルな規模で実施されるIMF・世界銀行の構造調整プログラムによる搾取を、資本主義による女性への暴力と支配の歴史として、フェミニストの視点から書き換える意欲作。



番線	冊数	
	冊	以文社 ISBN 978-4-7531-0245-7 C0010 本体価格:3,200円+税 観察者の系譜 視覚空間の変容とモダニティ ジョナサン・クレーリー 著 遠藤知巳 訳
	冊	以文社 ISBN 978-4-7531-0342-3 C0010 本体価格:2,600円+税 近代の〈物神事実〉崇拝について —ならびに「聖像衝突」 ブリュノ・ラトゥール 著 荒金直人 訳
	冊	以文社 ISBN 978-4-7531-0337-9 C0010 本体価格:4,600円+税 キャリバンと魔女 資本主義に抗する女性の身体(特別冊子付き) シルヴィア・フェデリーチ 著 小田原琳・後藤あゆみ 訳

※上記の書籍は注文書籍となります。(FAXまたは電話にてご返信お願い致します。)

FAX:03-6272-6538

TEL:03-6272-6536

http://www.ibunsha.co.jp/

101-0051 東京都千代田区神田神保町2-12 株式会社 以文社